

新しい風



質問者
嶺岡 慎悟



令和4年度予算の目玉は

Q 令和4年度は、コロナ禍を乗り越え一気に羽ばたく予算編成が必要である。令和4年度の目玉の予算を伺う。

A 「令和4年度当初予算編成方針」では、新型コロナウイルス対策のほか、市民生活支援、DX推進等を重点施策に位置付けています。持続可能なまちの実現に向けて、一步先の未来を見据えた事業を推進できるよう予算編成に取り組んでいきます。

将来の耕作放棄地対策を

Q 掛川市はお茶と水稲の後継者不足が特に深刻であり、今後耕作放棄地も一気に広がる事が予測される。市が現状を分析し強いリーダーシップを持って進めていくべきと考えるが見解を伺う。

A 関係者と話し合いを重ね、支援制度の周知を行うにつれて

A 市では、人農地プランの実質化を進める中で、関係者と話し合いを重ねています。農業者などの意欲を引き出すことで後継者不足、耕作放棄地拡大の解決へ繋がっていきます。

また、国県の支援制度の周知、活用を推進してまいります。



駅南地域の学校整備は

Q 人口が急速に増加している駅南地域には小・中学校が無い。今後の学校再編計画において、駅南の小中一貫校の整備について考えを伺う。

A 駅北地域にある第一小や中南地域在住となり、設置された時と状況が大きく異なっています。学校再編計画では、市全体の学校の適正規模、適正配置を慎重に検討しています。

【その他の質問事項】
・ 所信表明について
・ 多様性社会について

市民派・公明倶楽部



質問者
窪野 愛子



掛川区域公立幼稚園2園の認定こども園化は

Q 保育園の入園希望が増加する中、公立の三笠幼稚園とさかがわ幼稚園は定員割れの状態である。2園の認定こども園化に向けた取り組みを伺う。

A 民間譲渡・認定こども園化を含め、在り方を検討する

Q 2園については、令和10年までを検討時期とし、「民間譲渡・認定こども園化を含め、在り方を検討すること」としています。地区住民から御意見等をいただき、子どもの人口推移と教育・保育需要の動向を踏まえ、将来の在り方を検討していきます。

認知症に対する不安のないまちの構築へ施策の充実を

Q 令和4年に本市の高齢化率は27.7%、令和7年に約5人に1人が認知症を発症するといわれている。認知症に対する施策の充実について伺う。

A 認知症施策の更なる充実に努めていく

Q 令和3年3月策定の「第8期介護保険事業計画」に基づき、市では相談体制の充実など総合的に施策を推進しています。今後も、認知症施策の更なる充実に努めていきます。条例制定については、先進自治体等の状況をみながら、調査研究していきたいと考えています。

掛川駅南北通路ほのぼのパスエレベーターの整備は

Q 掛川駅ほのぼのの通り、南口階段には昇降機が設置されているが、使用頻度は今一つである。多様性に配慮したエレベーターの整備について伺う。

A 令和4年秋の着工を目指す

Q エレベーターは令和2年度より関係機関と協議しながら、設計業務を実施しており、令和4年秋の着工を目指して、事業を進めています。



エレベーターの設置が待たれる掛川駅南口